

# 紫友同窓会会報



■編集発行人：鹿児島大学共同獣医学部 紫友同窓会 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24

■印刷：小野高速印刷株式会社

## 同窓会長挨拶

紫友同窓会 会長 鶴田 勉  
(昭和49年卒)



紫友同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会の運営・活動にご理解・ご支援・ご協力を頂き、心より感謝いたします。

今年度より鹿児島大学の改組により、共同獣医学部は共同獣医学科・畜産学科の二学科になったため、獣医以外で初めて畜産学科の新生が紫友同窓会に入会しました。また曾於市に共同獣医学部附属の南九州畜産獣医学教育研究センター（SKLVセンター）が、実践的教育や学び直しを実施し国際的な獣医師の養成、防疫や衛生管理の技術向上、

全国の畜産・獣医学部生の受け入れを目的として発足し、共同獣医学部の帆保教授がセンター長に就任されました。

紫友同窓会は、鹿児島大学の各学部同窓会の連合組織である「鹿児島大学同窓会連合会」に加入し、大学との連携及び協力・各学部同窓会間の交流及び連携の推進その他本会の目的に沿った事業活動に参加しております。来年度の同窓会連合会総会は共同獣医学部の当番ですが、同窓会連合会が2025年4月に創設20周年を迎えることや、新型コロナウイルス感染症のため開催見送りになっていた「鹿児島大学ホームカミングデー2025」を鹿児島大学の近況に触れ恩師や職員、学友との交流・親睦を深め、相互の発展と大学との連携強化を図るため同窓生を対象としたイベントとして、同窓会連合会総会とコラボして実施することになっております。また来年度は紫友同窓会総会の開催も予定しておりますので、お忙しい中恐縮ですがご参加よろしくお願ひ申し上げます。

## 共同獣医学部近況報告

共同獣医学部・学部長 遠藤 泰之



鹿児島大学共同獣医学部は、令和6年4月に13年目を迎え、今年度より私が第5代共同獣医学部長を拝命することとなりました。歴代の学部長が築き磨き上げてきたこの共同獣医学部を、さらに発展させるべく努力してまいりますので、紫友同窓会の皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

皆様ご存知のように、共同獣医学部における獣医学教育に関しては、2019年4月に第三者評価機関である大学基準協会による獣医学教育認証を共同獣医学部として取得し、さらに同年6月には、欧州獣医学教育機関協会（European Association of Establishments for Veterinary Education: EAEVE）による公式最終審査を受審し、アジア地域においては初となる完全認証を受けています。この国際的な獣医学教育機関においては、すべての動物種とすべての獣医学に関する教育が、すべての学生に対して実施されることが義務付けられていますが、鹿児島大学共同獣医学部はこれを実践できる我が国では数少ない獣医学教育機関の一つであります。この教育課程の実践に関し、紫友同窓会の皆様には学外実習やインターンシップ等を通じて多大なるご協力を頂いており、この場を借りて厚く御礼申し上げます。月日が経つのは早いもので、EAEVEによる完全認証を受けた後に卒業生を輩出するに至り、一部の卒業生にはなりますが、2020年ならびに2024年の獣医学科卒業生が英国における獣医師としての資格取得に至ったことは特筆すべきことだと思います。2025年には再認証評価が控えておりますので、認証再取得に向けて邁進してまいりたいと思います。

鹿児島大学共同獣医学部は、日本有数の畜産地帯である鹿児島県に位置している獣医学部ということもあり、学部附属施設として曾於市の財部高校跡地に南九州畜産獣医学教育研究センター（SKLVセンター）を整備しました。この産学官連携事業の象徴とも言えるこの施設は、令和6年4月から本格稼働し始め、自大学のみならず他大学からも獣医学ならびに

畜産学を学ぶ実習生の受け入れの開始に至りました。まだ年度途中ではありますが、今年度はのべ100名以上の学生の受け入れが見込まれている状況です。また定期的な卒業研修セミナーも、当センターに所属する動物衛生学とあるいは産業動物臨床獣医学を専門とする教員により開講されており、地域へも大きく貢献しています。さらに本施設は一般の方々にも開放されており、乗馬体験やカフェの利用など、半年ほどで1万人以上の来場者があり、その反響は大きいものでした。

また令和6年度より共同獣医学部は2学科制へと移行いたしました。山口大学との共同教育課程を取る獣医学科は共同獣医学科に名称変更し、これに加えて畜産学科が新設された形となりました。前述のように、畜産県である鹿児島の特徴を全面に打ち立て、畜産学と獣医学の素養を学ぶことのできるハイブリッド教育カリキュラムを組みました。「畜産学」と「獣医学」は、産業動物、伴侶動物、野生動物等を対象とする動物科学であり、お互いに密接な関わり合いを持っています。近年は、ヒトと動物の健康とそれらを取り巻く地球環境の一つの学問領域として捉えるOne World・One Health (OWOH) という概念が浸透していますが、畜産学に関しても、動物福祉と地球環境に配慮した飼養管理、育種改良と繁殖を実践し、良質な畜産物や加工品を安全かつ安定的に供給する、といったことが我々の食と豊かな生活の構築に貢献するという点でつながっています。畜産の盛んなこの鹿児島において、OWOHの概念のもと畜産を支えていく畜産技術者を養成していきたいと考えています。さらに畜産学科においては、近年国家資格化された愛玩動物看護師の受験資格を得ることも可能となりました。愛玩動物看護師の国家試験受験資格が得られる教育課程を取得したのは、国立大学では全国で初となります。今後輩出される畜産学科の学生も、共同獣医学科の学生同様に、紫友同窓会の会員となりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

この鹿児島という九州最南端の地に、獣医学と畜産学を柱とする動物科学を实践する拠点があり、鹿児島大学共同獣医学部という形で大きく発展しつつあります。OWOHの概念を实践できる獣医師、ならびに畜産技術者の養成に関する教育改善に終わりはありませんが、我が国ならびに世界も見据えた人材を輩出できるような学部となるよう取り組んでいきたいと思ひます。引き続き紫友同窓会の皆様には、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 鹿児島大学の学生と教員生活を振り返って

宮本 篤(昭和57年学部卒、59年修士修了)

皆様には日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。私事で恐縮ですが、2024年3月末に母校を定年退職いたしました。無事に教員生活を大過なく終える事ができましたのも、皆様のお陰であり、ここに厚く御礼申し上げます。

少し過去を振り返りますと、学生時代は3年生後半より家畜生理学教室に所属し、恩師の稲田七郎先生および長野慶一郎先生のご指導の下、犬の尺骨神経と腓骨神経の感覚神経伝導速度の研究に従事し、その成果は私の最初の論文となりました。就職した徳島県鳴門市の(株)大塚製薬工場では一般薬理を担当し、摘出血管や内皮細胞の実験など様々な実験をする機会に恵まれました。大学へ戻ってからは西尾晃先生および石黒茂先生のご指導の下、牛、豚、馬の脳血管の調節機序の解明に取り組みます。その時、大学院生として心血管の研究を行っていたのが小尾岳士先生です。博士(獣医学)取得後は、ボストンのハーバード大学医学部でブラジキニンの研究をされていたJames K. Liao先生に手紙を送ったところ、受諾の返事が届き、1年間海外留学の貴重な機会を頂きました。研究はブラジキニンとアルコールのG蛋白質への影響で2つとも論文に出来て大変幸運でした。そこには論文で引用した先生もいたのも驚きでした。鹿児島へ戻ってからは、脳血管の研究を進め、哺乳類ではマウス、シカ、コウモリ、イルカ(Islam, M.Z氏)で、鳥類では鶏と鴨(Wu, S氏)で、爬虫類ではハブとトカラハブ(大田和朋紀氏)で調べることが出来ました。血管機能的成分の研究ではラクトフェリン(原田悦郎先生)、冬瓜(岩井純夫先生)、ヨモギ、イチヨウ、エンジュ(Ha, T.T.N氏)等を脳血

管や内皮細胞等を使って研究しました。マグネシウムと長寿との関連性は家森幸男先生との共同研究でした。この間、多大な貢献をしてくれた白石光也先生、宇野泰広先生および多くの学部学生の存在があり本当に人との出会いに恵まれたと感謝しております。

獣医学教育の制度もこの間大きく変わりました。私が大学へ入学した年から獣医師国家試験の受験資格が学部4年+修士課程2年の6年間となり、試験方法もマークシートが採用されました。6年後には学部一貫の6年教育となります。現在の研究棟Bおよび軽種馬診療センターも新設されました。農学部獣医学科から学部独立の話は、初めは山大、鳥大、宮大、鹿大の4大学の獣医学科が九大にて学部になる統合案でしたが実現せず、次に博士課程の大学院を4大学で作ることになり、1990年に連合獣医学研究科が山大を基幹校として設置されました。更に共同獣医学部の設置が話し合われ、最終的には2012年に山大と鹿大に設置され、2018年には共同獣医学研究科が山大と鹿大に博士課程の大学院として設置されました。海外の教育認証としてEA EVE(欧州獣医学教育機関協会)、動物のケアと使用に関するプログラムの認証としてAAALAC International(国際実験動物ケア評価認証協会)を取得できたことは鹿児島大学の大きな成果です。2015年には総合動物実験施設が、2017年には動物病院が新設され、2023年10月には南九州畜産獣医学教育研究センターが附属施設として設置され、2024年4月には曾於市に南九州畜産獣医学拠点が開設されました。尽力して頂いた多くの先生に感謝致します。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝ならびに母校の益々のご発展を祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。



## 同窓会報告

藏元 智英(平成27年卒)

10年前、私たちは夢と希望を胸に卒業式を迎えました。それからあっという間に年月が流れ、この度、卒業以来初めての同窓会が鹿児島市で開催されました。2024年11月2日、ちょうど「おはら祭り」で市全体が活気に溢れる中、鹿児島天文館付近で私たち獣医学科の同期は久しぶりに顔を合わせました。

当日は、全国各地から16人の同期が集まり、仕事や遠方のため参加できない者もいましたが、クラスのほぼ半数が揃いました。多忙を極める日々を送る中で、このような再会ができたことは、まさに奇跡のように感じます。

同窓会では、それぞれがどのような道を歩んできたかを共有する時間が持たれました。地方公務員として激務の中でも責任ある仕事に誇りを持って取り組む同期や、伴侶動物獣医師として多忙な日々を送りながらも、幅広い症例に対応する同期の話には、私自身も大変刺激を受けました。中には自分の動物病院を開業し、地域医療に貢献している者もあり、10年の時を経てそれぞれが成長した姿を目の当たりにしました。また、家庭を持った者も増え、子育ての楽しさや難しさを共有する時間もありました。今回参加できなかった同期の何人かとはテレビ電話にて同窓会に参加してもらいました。

学生時代の忘れがたいエピソードも多く語られました。初めて動物に触れた解剖実習や、1週間泊まり込みで行った入来牧場での実習の楽しさなど、話し始めると当時の記憶が鮮明に蘇ります。特に高学年時の病院実習では、未経験の状況の中で日々の診療に取り組み、獣医師としての不安を感じつつも、仲間と共に頑張った思い出が今でも心に残っています。その後の卒業論文の作成や国家試験の準備期間も、睡眠時間を削りながら仲間と共に乗り越えた大切な思い出です。

その後は2次会、3次会、4次会と夕方6時に始まった同窓会は、夜中の4時まで続き、まだまだ話し足りない中お開きとなりました。笑い声と歓声が絶えない中、私たちはかつての思い出を語り合い、未来への展望を共有しました。同窓会を通じて、再び互いを認識し、新たな絆を深めることができました。また、次回同窓会に向けて、より多くの同期が参加できるよう計画を立て始めています。

この記事を通じて、参加できなかった同期にも当日の様子を伝え、次回の再会に繋がることを願っています。時間が経つほどに深まる同期との絆を大切に、これからも互いの歩みを支え合っていければと思います。



## \*会計報告

令和5年度の一般会計収支決算書 (単位 円)

会計	項目	決算
収入	繰越額	2,343,158
	会費	51,000
	学生会費	260,000
	雑収入	11
	繰入金	50,000
	合計	2,704,169
支出	会議費	75,695
	会報通信費	0
	寄附費	25,000
	人件費	100,000
	卒業式関連費	35,233
	同窓会連合会費	100,000
	その他	88,337
	合計	424,265
繰越		2,279,904

## \*令和6年度同窓会費等納入のお願い

本年度も同窓会の年会費(2,000円)および学術基金(寄附金、2口1,000円)の納入をお願いいたします。皆様からいただいた会費や基金は、会報や名簿の発行、母校共同獣医学部の支援に有効活用させていただいております。今年度は、動物慰霊祭の献花への支出や、南九州畜産獣医学教育研究センターの支援基金である「鹿児島大学SKLVセンター基金」への寄付(50万円)をさせていただきました。



動物慰霊祭の献花を支援しました

当該基金はSKLVセンターで実習を受ける本学学生の宿泊費等に充当させていただいております。今後とも、同窓会活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。なお、SKLVセンター基金につきましては、以下の2つのURLからアクセスできます。

共同獣医学部ホームページ

鹿児島大学SKLVセンター基金 |

鹿児島大学 共同獣医学部

<https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/facilities/sklv/kikin/>

大学ホームページ

鹿大「進取の精神」支援基金について | 鹿大「進

取の精神」支援基金など | 国立大学法人 鹿

児島大学～進取の気風にあふれる総合大学～

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/kifukin/cat1352/post-19.html>



## \* 在学生からの寄稿

同窓会員の皆様、私たちの実習を支援いただきありがとうございます。皆様のおかげで、有意義な学外実習に取り組むことができました。来年度からは私も同窓会の一員として、少しでも貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしく願い致します。 江崎 赳夫（獣医学科6年生）

この度は、紫友会の皆様からの温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様のおかげで実習を円滑に行うことができ、大変感謝しております。今後も感謝の気持ちを忘れず、精進してまいります。後輩にも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。 石垣 桃子（獣医学科6年生）

## \* 令和7年度 共同獣医学部紫友同窓会総会のご案内

下記の日程で、紫友同窓会総会開催の準備を進めています。

日時：令和7年7月19日（土）15：00～

場所：鹿児島大学農学部共同獣医学部共通棟講義室  
（鹿大正門から正面の校舎、旧1号館）

※総会終了後は、共同獣医学部施設案内と懇親会（学内レストラン・ベジエマルシェにて18：00～、会費4,000円を予定）を予定しております。会員の皆様におかれましてはご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

※下記のURLまたは右のQRコードより、出席確認アンケートへの回答をお願いいたします。



<https://forms.office.com/r/7aRkgVfa4P> 令和7年度紫友同窓会  
総会及び懇親会  
出席確認アンケート

## \* 同窓会役員

令和6年度の現役員名簿は下記のとおりです。

顧問	西中川 駿(36)	新納 時英(44)	
会長	鶴田 勉(49)		
副会長	梶 哲郎(44)	伊地知洋幸(54)	
	松元 光春(55)	宮本 篤(57)	
監事	高瀬 公三(50)	吉満 文隆(57)	
	川原 成明(61)		
評議員 選出母体 学外	県農政部	福重 哲也(03)	内村江利子(09)
	県生活衛生課	迫田 豊秋(06)	横山 竜也(14)
	試験場関係	大小田 勉(62)	
	中央家保	大園 浩之(02)	
	県食肉検査所	我部山 厚(04)	
	市農林部	東原 孝(02)	
	市食肉検査所	尾堂 憲司(04)	
市動物公園	桜井 晋子(06)		

評議員 選出母体 学外	経済連	川畑 忠祐(13)
	開業	西 洋志(11)
	一般	松元 計士(36) 石黒 茂(41) 安田 宣紘(43) 田原 健(45) 櫻井 幹男(51) 北野 良夫(52) 紺家 亮爾(52) 山下 静馬(53) 上村 祐子(56) 西田 浩二(56) 徳田 祐二(57) 佐々木幸良(58)
	鹿大医	瀬戸山健太郎(12)
評議員 選出母体 事務局		三角 一浩(61) 帆保 誠二(62) 小尾 岳士(02) 藤木 誠(07) 畠添 孝(08) 三浦 直樹(09) 矢吹 映(09) 安藤 貴朗(13) 高橋 雅(16) 山下 紀幸(21) 一二三達郎(22) 古澤 悠(24) 野口 亜季(25) 蔵元 智英(27) 奥谷 公亮(29)

\* 訃報 謹んでご冥福をお祈りいたします。

明石 隆次 (S17) 有田 慶博 (S20)  
湯地 通 (S22) 水町 春道 (S26)  
武村 氏彰 (S26) 大迫 利雄 (S32)  
上妻 二郎 (S35) 梅木 共輝 (S38)  
川添 慧 (S42) 藤崎 幸蔵 (S44)  
中出 宏 (S47) 谷川 学 (S48)  
海川 豊 (S49)

(敬称略：令和5年1月～令和6年3月末にご逝去の連絡があった先生方)

## 編集後記

今年度から事務局を担当しています外科学の三角です。ホームページの更新も継続していきますので、掲載して欲しい情報がありましたら、以下までご連絡ください。また同窓会のLINEも作成していますので、ご登録ください。よろしく願いいたします。

紫友会LINEへの登録は右のQRコードより  
お願いします。



## 連絡先

鹿児島大学共同獣医学部紫友同窓会事務局  
TEL：099-285-8731（臨床獣医学講座外科学分野）  
E-mail：shiyu\_dousoukai@vet.kagoshima-u.ac.jp  
紫友同窓会HP：  
[https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/  
graduate/class/](https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/graduate/class/)

